

センター月だより

〒507-0034 多治見市豊岡町 1-55 ヤマカまなびパーク 4F TEL 23-3455 fax 26-8813

LINE 相談窓口を開設しました —ひとりで悩まないために—

当センターでは、子どもたちや若者(20歳未満)が、日々の生活の中で感じている悩みや不安を、少しでも気軽に相談できるよう、LINE 相談窓口を開設しました。



いじめやネットトラブル、発達や学習に関する不安、友人関係や家族関係の悩みなど、内容にかかわらず、専門の相談員が一人ひとりの思いを大切にしながら、丁寧にお話を伺います。

必要に応じて、関係機関や専門機関とも連携し、相談者の状況に応じた支援につなげていきます。

「学校に行っていない」「誰にも相談できなくてつらい」など、不安を抱える若者にとっても、スマホ1つでつながる相談窓口(居場所)となることを目指しています。

地域の皆さんには、本相談窓口についてご理解いただき、支援を必要としている子どもや若者、ならびにその保護者の方々へご紹介くださいようお願いいたします。

※詳細及び登録方法については少年センターHP、または右記 QR コードよりご確認ください。



◆指導日誌より

土岐地区

- ・声かけ活動では、地域の子どもたちの登校を見守りながら、あいさつや声かけを行っています。寒い朝でしたが、子どもたちは、大きな声で元気よくあいさつを返してくれました。(1/13 濃南)
- ・受験シーズンを迎える中、帰宅途中の高校生たちが進路状況や近況について、恩師に楽しそうに報告する姿が見られました。久しぶりに顔を合わせる中で、元気に成長した様子がうかがえ、寒さの厳しい中での声かけ活動ではありましたが、心温まるひとときとなりました。(1/14 泉西)

多治見地区

- ・寒さの影響もあってか、公園で遊んでいる子どもの姿は少なめでした。帰宅途中の女子中学生が立ち話をしている様子が見られたため、日が暮れる前に無事帰宅できるよう、声をかけました。(1/8 池田)
- ・冷たい風が吹く中、公園のすべり台では、小学生の女の子たちが大勢集まり、元気に遊んでいる様子が見られました。寒さにも負けず楽しそうに過ごす姿に目を配りながら見守りました。(1/13 笠原)
- ・公園では、流行りのシールを見てくれた女の子と楽しく交流し、和やかなひとときを過ごしました。こうした何気ないコミュニケーションの積み重ねこそが、子どもたちの安心感や地域の防犯意識を高めることにつながっていくのではないかと感じました。意義のある見回りとなりました。(1/13 小泉)

瑞浪地区

- ・交通安全協会明世支部の方と小学校の教頭先生と一緒に、横断歩道で声かけ活動を行いました。午前7時30分からの約10分間に登校が集中するため、事故防止に十分な配慮が必要でした。寒い中での活動ではありますが、子どもたちの明るいあいさつに、元気をもらう朝となりました。(1/20 日吉明世)
- ・出会った子どもたちは少なく、声をかける機会は限られていました。大人の方にも数名声をかけましたが、やり取りは多くありませんでした。継続した声かけ活動の大切さを改めて実感しました。(1/7 瑞浪 A)

◆1月の活動状況

	多治見	瑞浪	土岐
声かけ人数	366	230	760
指導員参加数	65	25	26